粂野ゼミナール

IN

東大阪市民ふれあい祭り

毎年５月の第２日曜日（母の日）に開催される市民一人ひとりが主催者の市民生活の祭典ともいえるお祭りが今年も５月１２日に開催されました。
パレードあり、ステージあり、催し物が多数出展するなか、今回、わたしたちは「東大阪ブランド」ブースのスタッフとして参加しました。

「東大阪ブランド」とは、
東大阪市は、約 6000 の町工場が軒を連ねる、言わずと知れた「モノづくりのまち」である東大阪を
拠点とする各企業が熱い「想い」を込めて、試行錯誤を繰り返し生み出した、特徴あるオリジナル製品（各分野の専門家で構成される評議員会において厳正に行われる審査をクリアした優れた製品）のみに認定されるブランドです。

HIGASHIOSAKA

＊東大阪ブランドロゴマーク＊

今回の目的は、
① 地域の方々にモノづくりのまち、東大阪市から誕生しているブランドを知っても
② 地域の方々とモノづくり企業との距離を近くし、将来を担う子どもたちにモノづくりの楽しさを伝える。
③ モノづくりのまちならではの取り組みを通じて、親子のふれあいを生み、地元への愛着や誇りを感じてもらう機会をつくること。

株式会社アドバンスのエコ製品（エコ洗剤）
作り体験コーナーです。

ワイヤーアート体験のメガネ作りに人が集まり、大行列で大人気でした。

米のぬかや微生物を粉末状にしたものから洗剤を作ります。この洗剤は、水を使わず、手でこするだけで、汚れがきれいに落とすことができます。
子供たちも熱心に作っていました。

グッズ工作体験コーナーです。特に、小さな子供たちが楽しそうに作っていました。

＊まとめ＊

今回の活動で、来場者がとても多くて、子どもたちに東大阪が生み出したブランドやモノづくりの楽しさを知ってもらえたと思います。
私たちは、企業の方々や地域の方々、そして、子どもたちと接するなかで、「東大阪の中小企業（ものづくり）」や「東大阪ブランド」について勉強することができました。
また、いろんな方々と話しているなかで、コミュニケーションをとるのが難しいと感じました。
人と接してみて、対話能力やコミュニケーション能力が必要だと思い、これから個人の能力を高められるように、いろいろな活動・経験をしたいです。